

令和6年度

第17号

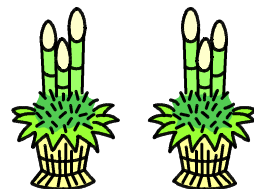
厚東小校長室だより



令和7年1月10日

明けましておめでとうございます

皆様、明けましておめでとうございます。今年も皆様にとって素晴らしい一年となるよう願っております。



さて、小学校でも新たに3学期がスタートし、子どもたちも気分を一新して学校生活をスタートさせています。それぞれが新年の新たな目標を念頭におき、様々な活動に取り組んでいるように感じます。

始業式では、校長からおおよそ以下のような内容の話をしました。気分新たに、様々なチャレンジや努力を重ねていく子どもたちに期待したいと思います。

- 今年の十二支はへび、「へび年」です。この「へび年」のことを「巳年（みどし）」と言います。へびは、「脱皮」といって、古い皮を脱ぎながら大きくなるということを繰り返すことから、復活や再生のシンボルとして縁起がよい動物と言われています。また、この「巳」という漢字は「み」と読めることから、「お金が身につく」「努力が実る」という意味合いがあるとも言われています。これらのことから、巳年には、努力を重ねることで「新しい自分に生まれ変わる」「幸せな未来をつかむ」年であるとも言われています。
- ただここで大切なのは、「努力を重ねることで」というところです。いくら縁起がいいからといって、何もしなかったら成長や変化はありません。そのために、この年をどのような一年にするのか、具体的な計画を立てて、努力をしていかなければなりません。皆さんも、今年の願い事や目標を祈ったり、今年の目標について家族で話をしたりすることがあったと思います。その実現に向けて、今日からの一日一日を大切に生活してほしいと思います。
- 3学期も、みなさんの活躍や、それに向けて頑張る姿を期待しています。先生方と一緒に頑張りましょう。



また、生徒指導担当から「ふわふわ言葉」と「ちくちく言葉」への取組について、今の状況を子どもたちに説明しました。昨年度の自分たち自身の数値と比較して、「ふわふわ言葉」が増え「ちくちく言葉」が減っている学年はしっかりと価値付け、そうではない学年には「あなたたちならできるはず」と奮起を促しました。

今年度、「学校全体で取り組むポジティブな行動支援」を念頭において学校経営をしております。「問題行動を罰する」のではなく（もちろん指導は必要ですが）、「望ましい行動を育てる」という発想の必要性を感じています。そして望ましい行動を育てるためには、「教えること」「承認すること」「環境を整えること」が不可欠です。本校では、それらを、まずは「ふわふわ言葉」への取組から実践を重ねているところです。

